

平成30年11月9日  
午前9時30分から  
区役所13階会議室A

## 平成30年度 第4回足立区環境審議会資料

### <審議事項>

- |       |                                     |   |
|-------|-------------------------------------|---|
| 審議事項1 | 第四次足立区一般廃棄物処理基本計画（案）について・・・・・・・・    | 1 |
| 審議事項2 | 足立区災害廃棄物処理計画（案）について・・・・・・・・・・・・・・・・ | 2 |

### <報告事項>

- |       |                                       |   |
|-------|---------------------------------------|---|
| 報告事項1 | 緑の実態調査の結果について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 3 |
|-------|---------------------------------------|---|

件名	第四次足立区一般廃棄物処理基本計画（案）について
所管部課	環境部ごみ減量推進課
事業（結果）の概要	<p>第四次足立区一般廃棄物処理基本計画案を別冊1のとおりまとめたので報告する。</p> <p><b>1 計画期間</b> 2019年度（平成31）年度から2028年度まで</p> <p><b>2 主な改定内容</b>  (1) 計画期間における目標値等の見直し  (2) 未利用食品をはじめとした食品ロス対策  (3) 集積所の美化対策  (4) 事業系ごみ排出基準見直しに伴う事業系有料ごみ処理券の貼付指導</p> <p><b>3 本計画の構成</b>  <b>第1章「計画策定の趣旨」</b>  計画の目的や位置づけ、計画期間、基本理念、計画期間等  <b>第2章「現状における課題の整理」</b>  清掃事業における個別具体的な課題整理  <b>第3章「ごみ減量と資源化の推進（基本方針）」</b>  基本方針、計画期間における個別目標値及び施策  <b>第4章「生活排水処理基本計画」</b>  し尿、生活雑排水の処理計画  <b>資料編</b>  計画の前提となる人口動態や産業状況の概観  計画期間における目標値の算出根拠やごみ・資源の処理経過等</p> <p><b>4 今後の予定</b>  11月26日から30日間まで  パブリックコメント（区民意見募集制度）実施  1月16日 環境審議会で審議  2月 環境審議会で区長に答申  3月 計画決定、印刷・製本</p>

## 平成30年度第3回足立区環境審議会資料

件名	足立区災害廃棄物処理計画（案）について																
所管部課	環境部ごみ減量推進課																
事業（結果）の概要	<p>足立区災害廃棄物処理計画案を別冊2のとおりまとめたので報告する。</p> <p><b>1 主な内容</b></p> <p>(1) 被害想定に基づく災害廃棄物等の発生量の推計 足立区地域防災計画の被害想定に基づき、以下のとおり推計した。</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">主な被害想定</td> <td>被害家屋棟数 (全壊・半壊・焼失)</td> <td>59,030 棟</td> </tr> <tr> <td>避難所生活者数</td> <td>182,560 人</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">災害廃棄物等</td> <td>災害がれき(被害家屋)</td> <td>約 3,350,000 t</td> </tr> <tr> <td>廃家電</td> <td>約 690,000 台</td> </tr> <tr> <td>粗大ごみ</td> <td>約 8,000 t</td> </tr> <tr> <td>避難所ごみ</td> <td>1日あたり約 107 t</td> </tr> <tr> <td>し尿</td> <td>1日あたり約 530,000 ℓ</td> </tr> </table> <p>(2) 一次仮置場候補地の選定</p> <p>ア 区立公園（353箇所）のうち、災害時活動拠点や不適場所等（40箇所）を除く 313 箇所の区立公園</p> <p>(ア) 緊急仮置場（緊急道路障害物除去路線付近の 30 箇所） 道路啓開により発生するがれき・車両等の仮置場</p> <p>(イ) 粗大ごみ・廃家電仮置場 家屋の片付けにより発生する粗大ごみ・廃家電の仮置場</p> <p>(ウ) がれき仮置場 家屋の倒壊・解体により発生するがれきの仮置場</p> <p>イ 区の廃止施設（跡地利用未定）、区画整理事業地、国・都等の用地 発災時点において、仮置場に適した場所については、管理者と協議のうえ候補地とする。</p> <p>※ 荒川河川敷については、「荒川防災施設活用計画」の改定の中で、仮置場設置に関する検討が行われている。</p> <p><b>2 今後の予定</b></p> <p>11月26日から30日間まで パブリックコメント（区民意見募集制度）実施</p> <p>1月16日 環境審議会で審議</p> <p>2月 環境審議会で区長に答申</p> <p>3月 計画決定、印刷・製本</p>	主な被害想定	被害家屋棟数 (全壊・半壊・焼失)	59,030 棟	避難所生活者数	182,560 人	災害廃棄物等	災害がれき(被害家屋)	約 3,350,000 t	廃家電	約 690,000 台	粗大ごみ	約 8,000 t	避難所ごみ	1日あたり約 107 t	し尿	1日あたり約 530,000 ℓ
主な被害想定	被害家屋棟数 (全壊・半壊・焼失)		59,030 棟														
	避難所生活者数	182,560 人															
災害廃棄物等	災害がれき(被害家屋)	約 3,350,000 t															
	廃家電	約 690,000 台															
	粗大ごみ	約 8,000 t															
	避難所ごみ	1日あたり約 107 t															
	し尿	1日あたり約 530,000 ℓ															

## 平成30年度第4回足立区環境審議会資料

件名	緑の実態調査の結果について
所管部課	都市建設部 みどりと公園推進室 みどり推進課
事業(結果)の概要	<p>足立区緑の基本計画の改定に伴い、平成29年度に緑の実態調査を実施したので、調査結果を概要版にて報告する。</p> <p><b>1 緑被率と樹木被覆地率（概要版 1ページ）</b>      緑被率・・・区域面積に対する、樹木＋草地＋農地の割合      樹木被覆地率・・・区域面積に対する、樹木に覆われている割合</p> <p>(1) 緑被率の経年変化      平成29年度17.1%（平成21年度と比べ、<b>変化なし</b>）      公有地は増加したが、私有地は減少した。</p> <p>(2) 樹木被覆地率の経年変化      平成29年度9.4%（平成21年度の8.0%から<b>増加</b>）      公有地、私有地ともに増加した。      ※環境基本計画の2024年度目標値8.7%を上回った。</p> <p>(3) 考察      大規模開発などが行われた私有地でも、緑化により緑が確保できている箇所もある。</p> <p><b>2 地表熱温度分布図（概要版 3ページ）</b>      地表面温度分布と緑の関係についての分析と考察</p> <p>(1) 新田開発地区周辺①や舎人公園周辺②など      公園などの面積が大きく緑の多い場所は、その敷地を越えて温度低下（にじみ出し）の効果がある。</p> <p>(2) 関原・本木周辺      公園を含め緑が少ない地域であり、かつ密集市街地で風が通りづらい場所は非常に温度が高くなっている。</p> <p><b>3 農地の減少（概要版 6ページ）</b>      区内の農地面積は56.2haで、8年前に比べ、東綾瀬公園(15.8ha)より広い18.7ha、生産緑地は総合スポーツ公園(5.1ha)とほぼ同じ5.2ha減少した。減少した農地のほとんどが宅地化している。      今後区内の農地についてどのように考えていくかが、課題である。</p> <p><b>4 今後のスケジュール</b>      平成30年11月に足立区緑の基本計画改定審議会を発足し、平成31年度末を目途に改定する。</p>